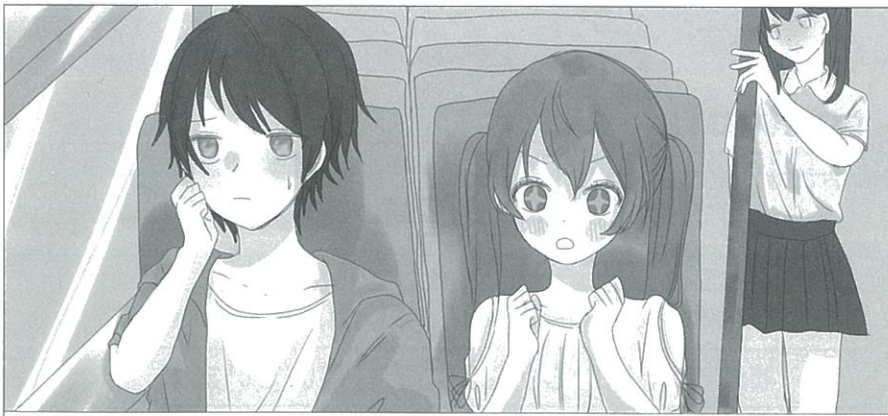




第12話 大府駅で発見!!



9月になってもまだまだ厳しい残暑が続いている。おれは部活の大会の打ち合わせで名古屋に行かなきゃならない。大府駅まで「これあいバス」で行くか。ちょうど良い時間にバスが来るみたいだし、何より安い！高校生にはやさしい。バスに乗り込むとあいつと目が合った。えっ!?

「あれ? 桃花?」
「え!? 先輩? どうしてこんなところに?」
「おれは大府駅に行くところ…」
「え〜! 私です! こんな偶然って運命じゃないですか?」
「しー。お前バスの中なのに声でかいんだよ」
「あ、ごめんなさい」
バスに揺られて15分。大府駅に着くとにぎやかな声が聞こえてきた。
「先輩! あそこで野菜とかお菓子を売ってますよ! ほら、

これが『大府駅前マルシェ』ですよ。見てくださいよ! ピエロまでいますよ!」
桃花が指さす先でピエロの格好をしたお姉さんがバルーンアートを作っていた。
「ちょっと行ってみましょうよ!」
「あ、おいちょっと待てよ。おれは今から名古屋に行かなきゃ…」
「こんにちは!」
「あら、こんにちは。ちょっと待ってね」
そう言うとピエロのお姉さんは、桃花と何やら楽しそうに話しながらサクサクと手を動かしていた。しばらくすると桃花がバルーンアートのトトロを差し出してきた。
「はい、これは先輩の分です! 私とおそろいですよ。大事にしてくださいね!」
「あ、ありがと。で、でも、今から名古屋に行かなきゃって…聞こえてる?」
「何言ってんですか、先輩。せっかく作っていただいたのに。大事にしましょうね! ほら、こっちは地元産の農産物も売られているんですよ。生産農家の方が直売しますからね。あと福祉施設の出店もある!」
「電車に乗るまでの時間に買い物しちゃうな」
「先輩、あっちの『KURUTO おおぶ』にも行ってみましょう

よ! ここはカフェと売店が一緒になってるんです。大府の土産品を売ってますよ。ぶどうのお菓子、巨峰ジャムや巨峰バター、タマネギのお漬物! あっ、今年、納豆のコンクールで日本一に選ばれた『高丸食品の国産中粒納豆』もありますね、スーパーだと売り切れちゃうってママが言っていました」
「こっちは、おぶちゃんグッズがあるぞ。毎年ゆるキャラグッズランプリにチャレンジしてるだろ? ジワジワ順位上がってるよな」
「カフェのメニューは地産地消で作られていますよ。タニタともコラボしてヘルシーですよ!!」
「というか、こんなに賑わってるイベントがあるなんて知らなかったな。来日もまた来てみようかな」
「そうですね…あの、先輩、これってデート、ですよ」
「は、はあ!? ちげえよ! おれもう行かなきゃ! マジ遅刻するよ!! じゃ、またな!」
「は〜い! また誘ってくれるんですか!? 待ってま〜す」
(10月1日号へ続く)

「先輩、あっちの『KURUTO おおぶ』にも行ってみましょう

「先輩、あっちの『KURUTO おおぶ』にも行ってみましょう

文：大府東高校一年 金田千綸
絵：同一年 加藤梨瑚